

「春」についてのイメージを広げ、自分が感じる「春」を書き表そう

ー「枕草子」の「春」について書かれた文章や俳句などを、声に出して読んでみましょう。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこし
あかりて、紫^{むらさき}だちたる雲のほそくたなびきたる。
(ようよう)をばぶいて表現する方法が、

春は明け方がよい。だんだん白くなっていく
山ぎわの空が、少し明るくなって、紫がかつ
た雲が細くたなびいているのがよい。



2 自分が感じる「春」のよさや好きなところを書き表しましょう。

春は さくら 。満開の花が春風にゆれる様子が
よい。また、はらはらと花びらが散っていくのもよい。

春は



がよい。

もよい。

「五月は」
「梅雨は」
「夏は」
など、
いろいろアレンジできますね。

あなたが感じる春らしいものは何ですか。どんなところがよいと感じますか。

